

Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 2.0

補足マニュアル Sun Netra X4250 サーバー



Part No. 820-6148-11
2010 年 5 月, Revision A

Copyright © 2008, 2010, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション（人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む）への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（redundancy）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

OracleとJavaはOracle Corporationおよびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

AMD、Opteron、AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。Intel、Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。UNIXはX/Open Company, Ltd.からライセンスされている登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

原典:	<i>Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 2.0 Supplement for the Sun Netra X4250 Server</i> Part No: 820-4060-11 Revision A
-----	---



目次

はじめに v

1. Sun Netra X4250 サーバー用の ILOM 1
 - プラットフォーム固有の ILOM 機能 1
 - Telco アラームポートの ILOM による制御 1
2. サービスプロセッサの管理 3
 - SP を使用した顧客情報の格納 3
 - ▼ CLI を使用して、システム識別情報を変更する 3
 - ▼ Web インタフェースを使用して、顧客の識別情報を変更する 4
 - サービスプロセッサ設定の出荷時のデフォルトへの変更 5
 - ▼ CLI を使用して、サービスプロセッサの設定を出荷時のデフォルト値にリセットする 5
 - ▼ Web インタフェースを使用して、サービスプロセッサの設定を出荷時のデフォルトにリセットする 6
- SSH サーバーの設定の管理 6
 - ▼ CLI を使用して、SSH 鍵のタイプを変更する 6
 - ▼ CLI を使用して、新しい SSH 鍵セットを生成する 7
 - ▼ CLI を使用して、SSH サーバーを再起動する 7
 - ▼ CLI を使用して、遠隔接続を使用可能または使用不可にする 7
 - ▼ Web インタフェースを使用して、SSH サーバーの設定を管理する 8

アラームインジケータの管理 9

- ▼ CLI を使用して、アラームインジケータをオンまたはオフに設定する 9
- ▼ Web インタフェースを使用して、アラームインジケータをリセットする 10
- ▼ ipmitool を使用して、アラームインジケータを管理する 11
 - ▼ すべてのアラームインジケータの状態を取得する 11
 - ▼ 一つのアラームインジケータの状態を取得する 11
 - ▼ アラームインジケータをオフにする 11
 - ▼ アラームインジケータをオンにする 12

A. Sun Netra X4250 ILOM の参照情報 13

Sun Netra X4250 のセンサー、インジケータ、およびコンポーネント 13

SUN-HW-TRAP-MIB からの Oracle の Sun Netra X4250 SNMP トラップ 19

はじめに

この補足マニュアルでは、Oracle の Sun Netra X4250 サーバーのサービスプロセッサ (SP) で動作する Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 2.0 ファームウェアに関する情報を提供します。SP を使用すると、遠隔からサーバーを管理することができます。

ILOM 2.0 と、その機能および関連するユーザー手順の詳細は、『Sun Integrated Lights Out Manager 2.0 ユーザーズガイド』および『Sun Integrated Lights Out Manager 2.0 ユーザーズガイド (補足)』を参照してください。

書体と記号について

書体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例。	.login ファイルを編集します。 ls -a を実行します。 % You have mail.
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して表します。	マシン名% su Password:
<i>AaBbCc123</i>	コマンド行の可変部分。実際の名前や値と置き換えてください。	rm <i>filename</i> と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『Solaris ユーザーマニュアル』
「 」	参照する章、節、または、強調する語を示します。	第 6 章「データの管理」を参照。 この操作ができるのは「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	% grep `^#define \</b> <b>XV_VERSION_STRING`

注 – ブラウザの設定によって、文字の表示が異なります。文字が正しく表示されない場合は、ブラウザの文字エンコーディングを Unicode UTF-8 に変更してください。

関連マニュアル

これらのドキュメントは、次の URL でオンラインで入手できます。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/nt4250.srvr#hic>

用途	タイトル	Part No.	場所
計画	『Sun Netra X4250 サーバーサイト計画の手引き』	820-6134	オンライン
設置	『Sun Netra X4250 サーバー設置マニュアル』	820-6141	オンライン
問題および更新	『Sun Netra X4250 Server Product Notes』	820-4059	オンライン
システム管理	『Sun Integrated Lights Out Manager 2.0 ユーザーズガイド』	820-2698	オンライン
	『Sun Integrated Lights Out Manager 2.0 ユーザーズガイド (補足)』	820-4785	オンライン
	『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 2.0 補足マニュアル Sun Netra X4250 サーバー』	820-6148	オンライン
保守	『Sun Netra X4250 Server Service Manual』	820-4056	オンライン
安全とコンプライアンス	『Sun Netra X4250 Server Safety and Compliance Guide』	816-7190	オンライン
	『Important Safety Information for Sun Hardware Systems』	821-1590	出荷用キット
全般	『Sun Netra Rack Server Getting Started Guide』	820-3016	出荷用キット

マニュアル、サポート、およびトレーニング

その他のリソースに関する情報は、次の Web サイトで提供されています。

Sun のサービス	URL
マニュアル	http://docs.sun.com/
サポート	http://www.sun.com/support/
トレーニング	http://www.sun.com/training/

ドキュメントのフィードバック

コメントは、<http://docs.sun.com/> で「Feedback [+]」リンクをクリックしてお送りください。ご意見をお寄せいただく際には、下記のタイトルと Part No. を記載してください。

『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 2.0 補足マニュアル Sun Netra X4250 サーバー』、Part No. 820-6148-11

第 1 章

Sun Netra X4250 サーバー用の ILOM

この章では、Sun Netra X4250 サーバー用の ILOM について説明します。

この章は、次の節で構成されています。

- [1 ページの「プラットフォーム固有の ILOM 機能」](#)
-

プラットフォーム固有の ILOM 機能

ILOM は多くのプラットフォームで動作し、すべてのプラットフォームに共通する機能をサポートしています。ILOM の機能の中には、すべてのプラットフォームではなく、一部のプラットフォームでのみ使用できるものがあります。このドキュメントでは、『Sun Integrated Lights Out Manager 2.0 ユーザーズガイド』で説明されている一連の機能を補足する、Sun Netra X4250 サーバー用の機能について説明します。

Telco アラームポートの ILOM による制御

ILOM のアラームが表明されると、適切な LED が点灯し、対応するアラーム信号が背面パネルのアラームポートに送信されます。アラームがオフになると、LED が消灯し、アラームポート信号はリセットされます。詳細は、[9 ページの「アラームインジケータの管理」](#)を参照してください。

電気通信環境では、アラームポートは中央局の警報システムに接続しています。アラームコネクタのピン配列および信号については、『Sun Netra X4250 Server Service Manual』の付録 A を参照してください。

第2章

サービスプロセッサの管理

この章では、ほかのプラットフォーム上の ILOM と共通の一連のプロパティを補足する、Sun Netra X4250 サーバーの ILOM プロパティについて説明します。この章では、特に /SP ネームスペースのプロパティについて説明します。この章は、次の節で構成されています。

- 3 ページの「SP を使用した顧客情報の格納」
- 5 ページの「サービスプロセッサ設定の出荷時のデフォルトへの変更」
- 6 ページの「SSH サーバーの設定の管理」
- 9 ページの「アラームインジケータの管理」

SP を使用した顧客情報の格納

この節では、インベントリ管理、サイトの資源管理などの目的で、SP および FRU PROM に情報を格納できる ILOM 機能について説明します。

▼ CLI を使用して、システム識別情報を変更する

/SP system_identifier プロパティを使用すると、顧客の識別情報を格納できます。

- -> プロンプトで、次のコマンドを入力します。

```
-> set /SP system_identifier=data
```

▼ Web インタフェースを使用して、顧客の識別情報を変更する

The screenshot shows the Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) web interface. At the top, there is a header bar with 'ABOUT' on the left and 'REFRESH' and 'LOG OUT' on the right. Below the header, it displays 'Role (User): Administrator (root)' and 'SP Hostname : SUNSP001B24BE4B2F'. The main title is 'Sun™ Integrated Lights Out Manager'. On the right side of the header, there is a Java logo and 'Sun Microsystems, Inc.'. Below the header, there is a navigation bar with tabs: 'System Information', 'System Monitoring', 'Configuration', 'User Management', 'Remote Control', and 'Maintenance'. Under 'Configuration', there are sub-tabs: 'Versions', 'Session Time-Out', 'Components', and 'Identification Information'. The 'Identification Information' tab is selected. Below the tabs, the title 'Identification Information' is followed by the instruction 'Configure identification information.'. There are two input fields: 'SP Hostname:' with the value 'SUNSP001B24BE4B2F' and 'SP System Identifier:' with the value 'my_system'. A 'Save' button is located at the bottom left of the form.

ILOM は、システム識別子情報を SP に割り当てて格納できる機能を備えています。

1. ILOM Web インタフェースに管理者 (root) としてログインし、Web インタフェースを表示します。
2. 「System Information」 -> 「Identification Information」を選択します。
3. 「SP Hostname」が表示されます。
4. 「SP System Identifier」フィールドを編集します。
5. 「Save」をクリックします。

サービスプロセッサ設定の出荷時のデフォルトへの変更

この節では、サービスプロセッサの設定を出荷時のデフォルトに戻す方法について説明します。

▼ CLI を使用して、サービスプロセッサの設定を出荷時のデフォルト値にリセットする

`reset_to_defaults` プロパティを使用すると、すべての ILOM 構成プロパティを出荷時のデフォルト値に戻すことができます。`all` オプションを指定すると、ILOM 構成とすべてのユーザー情報が出荷時のデフォルト値に戻ります。

1. -> プロンプトで、次のコマンドを入力します。

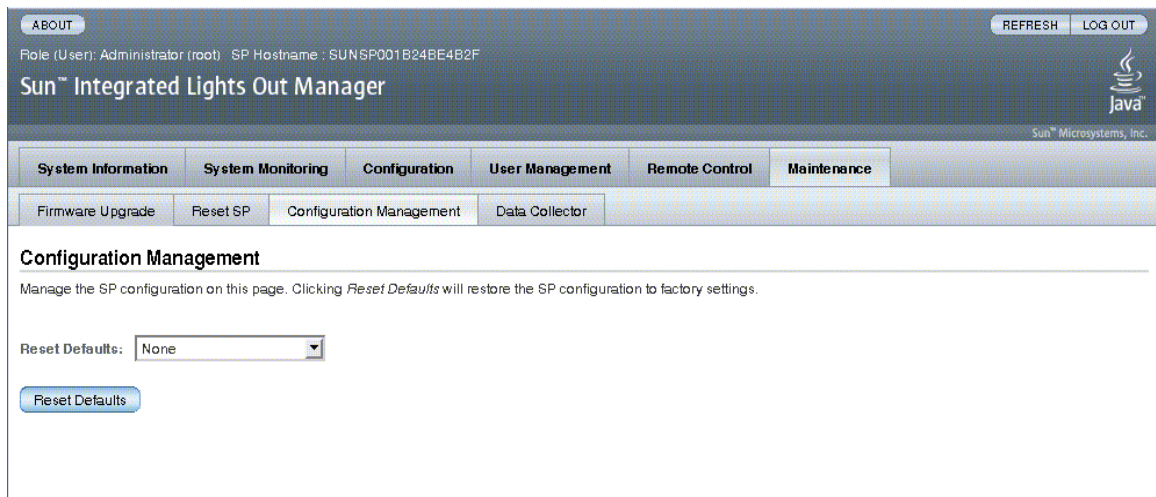
```
-> set /SP reset_to_defaults=all
```

`reset_to_defaults` には、次のいずれかを設定できます。

- `none` — 変更しません。
- `configuration` — ユーザーデータベースを保持します。
- `all` — ユーザーデータベースをリセット (クリア) します。

2. サービスプロセッサをリセットして、新しいプロパティ値を有効にします。

▼ Web インタフェースを使用して、サービスプロセッサの設定を出荷時のデフォルトにリセットする



1. ILOM Web インタフェースに管理者 (root) としてログインし、Web インタフェースを表示します。
2. 「Maintenance」->「Configuration Management」を選択します。
3. 「Reset Defaults」の値 (None、All、または Factory) を選択します。
4. 「Reset Defaults」をクリックします。

SSH サーバーの設定の管理

▼ CLI を使用して、SSH 鍵のタイプを変更する

set /SP/services/ssh generate_new_key_type コマンドを使用すると、使用しているサーバーで生成された Secure Shell (SSH) ホスト鍵のタイプを変更できます。タイプを変更したら、set /SP/services/ssh generate_new_key_action コマンドを使用して、新しいタイプの新しい鍵セットを生成する必要があります。

- -> プロンプトで、次のコマンドを入力します。

```
-> set /SP/services/ssh generate_new_key_type=value
```

value には、rsa または dsa を指定できます。

▼ CLI を使用して、新しい SSH 鍵セットを生成する

set /SP/services/ssh generate_new_key_action コマンドを使用すると、新しい Secure Shell (SSH) ホスト鍵のセットを生成できます。

- -> プロンプトで、次のコマンドを入力します。

```
-> set /SP/services/ssh generate_new_key_action=true
```

▼ CLI を使用して、SSH サーバーを再起動する

set /SP/services/ssh generate_new_key_action コマンドを使用して新しいホスト鍵を生成したあとは、set /SP/services/ssh restart_sshd_action コマンドを使用して SSH サーバーを再起動します。このコマンドによって、メモリー内にあるサーバーの専用データ構造に鍵がふたたび読み込まれます。

- -> プロンプトで、次のコマンドを入力します。

```
-> set /SP/services/ssh restart_sshd_action=true
```

▼ CLI を使用して、遠隔接続を使用可能または使用不可にする

set コマンドで /SP/services/ssh state プロパティを使用すると、遠隔接続を指定するか、または使用不可にすることができます。

- -> プロンプトで、次のコマンドを入力します。

```
-> set /SP/services/ssh state=value
```

value は、enabled または disabled です。

▼ Web インタフェースを使用して、SSH サーバーの設定を管理する

ABOUT

REFRESHLOG OUT

Role (User): Administrator (root) SP Hostname : SUNSP001B24BE4B2F

Sun™ Integrated Lights Out Manager

Sun™ Microsystems, Inc.

System Information

System Monitoring

Configuration

User Management

Remote Control

Maintenance

System Management Access

Alert Management

Network

Serial Port

Clock Settings

Syslog

SMTP Client

Web Server

SNMP

SSL Certificate

SSH Server

SSH Server Settings

Configure Secure Shell server access and key generation. Newly generated keys are not used until the SSH server is restarted. When the SSH server is restarted or disabled, any CLI sessions running over SSH will be immediately terminated.

SSH Server:

RSA Key:

RSA Fingerprint: 3a:bf:24:2b:30:8b:87:15:cd:38:28:f2:e6:c3:61:e3

RSA Key Length: 1024 bits

RSA Public Key:
AAAAB3NzaC1yc2EAAAABIwAAAIEAwMwu8TPTgYSoMYeXKpL
TgtqANPet8itmtabSLoFQa34tS9yi2AEvJ65NptagfHjGTCX
CK42o4FMEYayC2J6rwUiIbnUj7wZ3YL12HLmQxtk4W0rjP1W
De8gpcKBEqa5NTNDDBdbqR9YHgJ0v9RIHtiYLqfo29W0n57J
rpfqFtk=

DSA Key:

DSA Fingerprint: b6:a5:4d:f3:fe:69:c4:69:33:ad:78:0f:72:ee:28:b0

DSA Key Length: 1024 bits

DSA Public Key:
AAAAB3NzaC1kc3MAAACBAJCNiSFyZvEuJUmcxsIJ1uln3f9Q
O9SFZvNUUrm0aU6+GylukJTh7+67h57+gZdtjZbe0RxtbfeO
hZv3TkwafXWZMfpFVpGb3RKulB4K7XEPt4mniW845WE0faTGR
dDwv4lcm64uY5136Kg1/BL1pEV/pCGR/o0q4FGF3aI7tucGIT
AAAFQCULvliYrOuGKjUZFr0p+veFM4h0LQAAIBRIKGVlotA
Zcp/hvYK6EPVjT9jgvB14dOzybg8EiminzEH19/f2tOx49pql
DDrWKE++vvJ9JWKMHVa9V2woG9EAyA3DqlMMOC7M4V1ici/U
bFLK9F7de1TP1DUa8wCZb7E+yryobJwJKdoDDQ1ZSRJCB7oou
F5t3qwNp81dS6BjnRQAAABYB1Bw7vENFuD7W+2c0HyexmZ+

1. ILOM Web インタフェースに管理者 (root) としてログインし、Web インタフェースを表示します。
2. 「Configuration」 -> 「SSH Server Settings」を選択します。

3. 「SSH Server」プルダウンメニューから処理を選択します。
4. 「Generate RSA Key」または「Generate DSA Key」をクリックして、新しい鍵のタイプと新しい鍵を生成します。
新しい鍵を生成した場合は、新しい鍵を有効にするために SSH サーバーを再起動する必要があります。

注 – SSH サーバーを再起動するか使用不可にすると、SSH 上で動作している CLI セッションは即時に終了します。

アラームインジケータの管理

アラームインジケータは、ILOM の CLI または Web インタフェース、あるいは IPMITool ユーティリティを使用して管理します。アラームインジケータをオンに設定すると、背面パネルのアラームポートとフロントパネルのアラーム LED で、対応するアラームがオンになります。アラームを設定またはリセットするには、次の手順を使用します。

▼ CLI を使用して、アラームインジケータをオンまたはオフに設定する

set コマンドで /SYS/ALARM/ value プロパティを使用して、アラームをオンまたはオフに設定します。

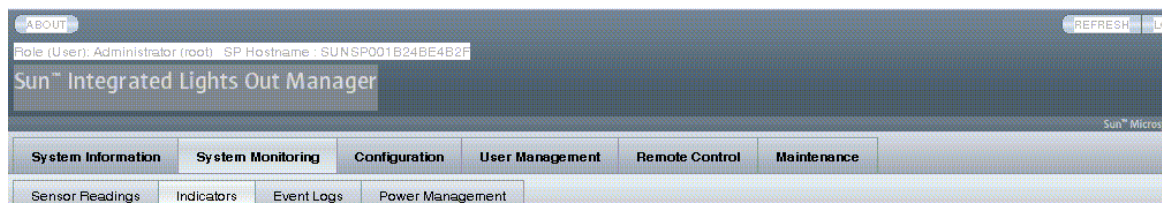
- *-> プロンプトで、次のいずれかのコマンドを入力します。

```
-> set /SYS/ALARM/CRITICAL value=state
-> set /SYS/ALARM/MAJOR value=state
-> set /SYS/ALARM/MINOR value=state
-> set /SYS/ALARM/USER value=state
```

state は、on または off です。

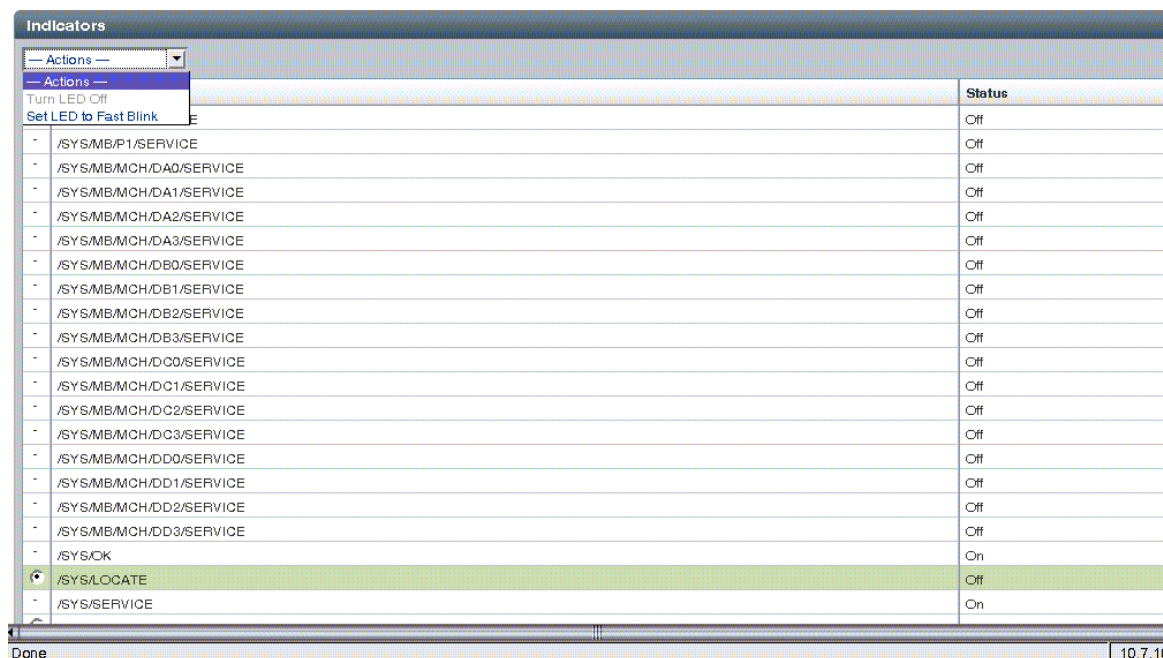
▼ Web インタフェースを使用して、アラームインジケータをリセットする

ILOM Web インタフェースでは、オンになっているアラームインジケータをオフにすることだけ実行できます。



Indicators

Manage the system Locator indicators and view the status of other indicators from this page. To modify an indicator, select the radio button next to that indicator, then choose an option from the Action drop down list. The Locate indicators are the white LEDs.



1. ILOM Web インタフェースに管理者 (root) としてログインし、Web インタフェースを表示します。
2. 「System Monitoring」 -> 「Indicators」を選択します。
3. インジケータの横にあるラジオボタンを選択して、「Actions」ドロップダウンリストからオプションを選択します。

4. 「Save」をクリックします。

▼ `ipmitool` を使用して、アラームインジケータを管理する

▼ すべてのアラームインジケータの状態を取得する

- 次のコマンドを入力します。

```
ipmitool -H ilom_ipaddr -U user -P passwd sunoem sbled get all
```

ilom_ipaddr はサーバーの ILOM IP アドレス、*user* はユーザー名、*passwd* はパスワードです。

▼ 一つのアラームインジケータの状態を取得する

- 次のコマンドを入力します。

```
ipmitool -H ilom_ipaddr -U user -P passwd sunoem sbled get alarm
```

ilom_ipaddr はサーバーの ILOM IP アドレス、*user* はユーザー名、*passwd* はパスワードで、*alarm* の値は CRITICAL_ALARM、MAJOR_ALARM、MINOR_ALARM、または USER_ALARM です。

▼ アラームインジケータをオフにする

- 次のコマンドを入力します。

```
ipmitool -H ilom_ipaddr -U user -P passwd sunoem sbled set alarm off
```

ilom_ipaddr はサーバーの ILOM IP アドレス、*user* はユーザー名、*passwd* はパスワードで、*alarm* の値は CRITICAL_ALARM、MAJOR_ALARM、MINOR_ALARM、または USER_ALARM です。

▼ アラームインジケータをオンにする

- 次のコマンドを入力します。

```
ipmitool -H ilom_ipaddr -U user -P passwd sunoem sbled set alarm on
```

ilom_ipaddr はサーバーの ILOM IP アドレス、*user* はユーザー名、*passwd* はパスワードで、*alarm* の値は CRITICAL_ALARM、MAJOR_ALARM、MINOR_ALARM、または USER_ALARM です。

付録 A

Sun Netra X4250 ILOM の参照情報

この付録では、Sun Netra X4250 サーバーに関する参照情報を示します。

- 13 ページの「Sun Netra X4250 のセンサー、インジケータ、およびコンポーネント」
- 19 ページの「SUN-HW-TRAP-MIB からの Oracle の Sun Netra X4250 SNMP トラップ」

Sun Netra X4250 のセンサー、インジケータ、およびコンポーネント

表 A-1 Sun Netra X4250 のセンサー

タイプ	名前	説明	測定単位または値
構成要素の存在	/SYS/MB/P0/PRSNT	マザーボード (MB)、CPU 0 (P0)	Present または Absent
	/SYS/MB/P1/PRSNT	マザーボード (MB)、CPU 1 (P1)	Present または Absent
	/SYS/SASBP/PRSNT	ディスクバックプレーン (SAS コントローラ)	Present または Absent
	/SYS/PS0/PRSNT	電源装置 0 (PS0)	Present または Absent
	/SYS/PS1/PRSNT	電源装置 1 (PS1)	Present または Absent
	/SYS/HDD0/PRSNT	ディスクドライブ (HDD0)	Present または Absent
	/SYS/HDD1/PRSNT	ディスクドライブ (HDD1)	Present または Absent
	/SYS/HDD2/PRSNT	ディスクドライブ (HDD2)	Present または Absent
	/SYS/HDD3/PRSNT	ディスクドライブ (HDD3)	Present または Absent

表 A-1 Sun Netra X4250 のセンサー (続き)

タイプ	名前	説明	測定単位または値
電流	/SYS/PS0/I_IN	電源装置 (PS0) の入力電流	アンペア
	/SYS/PS0/I_OUT	電源装置 (PS0) の出力電流	アンペア
	/SYS/PS1/I_IN	電源装置 (PS1) の入力電流	アンペア
	/SYS/PS1/I_OUT	電源装置 (PS1) の出力電流	アンペア
ファン	/SYS/FT0/F0/TACH	システムファン (F0)	RPM
	/SYS/FT0/F1/TACH	システムファン (F1)	RPM
	/SYS/FT0/F2/TACH	システムファン (F2)	RPM
	/SYS/FT1/F0/TACH	ハードディスクドライブ (HDD) のファン (F0)	RPM
	/SYS/FT1/F1/TACH	ハードディスクドライブ (HDD) のファン (F2)	RPM
	/SYS/FT2/F0/TACH	配電盤 (PDB) のファン	RPM
	/SYS/PS0/F0/TACH	電源装置 (PS0) のファン (F0)	RPM
	/SYS/PS1/F0/TACH	電源装置 (PS1) のファン (F1)	RPM
電力装置	/SYS/VPS	電源の出力電力	ワット
	/SYS/PS0/INPUT_POWER	電源装置 (PS0) の入力電力	ワット
	/SYS/PS0/OUTPUT_POWER	電源装置 (PS0) の出力電力	ワット
	/SYS/PS1/INPUT_POWER	電源装置 (PS1) の入力電力	ワット
	/SYS/PS1/OUTPUT_POWER	電源装置 (PS1) の出力電力	ワット

表 A-1 Sun Netra X4250 のセンサー (続き)

タイプ	名前	説明	測定単位または値
電源装置	SYS/PS0/VINOK	電源装置 (PS0) の電圧は正常	Deasserted または Asserted
	SYS/PS0/PWROK	電源装置 (PS0) の電力は正常	Deasserted または Asserted
	SYS/PS0/CUR_FAULT	電源装置 (PS0) の電流の障害	Deasserted または Asserted
	SYS/PS0/VOLT_FAULT	電源装置 (PS0) の電圧の障害	Deasserted または Asserted
	SYS/PS0/FAN_FAULT	電源装置 (PS0) のファンの障害	Deasserted または Asserted
	SYS/PS0/TEMP_FAULT	電源装置 (PS0) の温度の障害	Deasserted または Asserted
	SYS/PS1/VINOK	電源装置 (PS1) の電圧は正常	Deasserted または Asserted
	SYS/PS1/PWROK	電源装置 (PS1) の電力は正常	Deasserted または Asserted
	SYS/PS1/CUR_FAULT	電源装置 (PS1) の電流の障害	Deasserted または Asserted
	SYS/PS1/VOLT_FAULT	電源装置 (PS1) の電圧の障害	Deasserted または Asserted
	SYS/PS1/FAN_FAULT	電源装置 (PS1) のファンの障害	Deasserted または Asserted
	SYS/PS1/TEMP_FAULT	電源装置 (PS1) の温度の障害	Deasserted または Asserted
温度	/SYS/MB/T_AMB0	マザーボードの周囲温度 0	摂氏温度
	/SYS/MB/T_AMB1	マザーボードの周囲温度 1	摂氏温度
	/SYS/MB/T_AMB2	マザーボードの周囲温度 2	摂氏温度
	/SYS/MB/T_AMB3	マザーボードの周囲温度 3	摂氏温度
	/SYS/PS0/T_AMB	電源装置 (PS0) の周囲温度	摂氏温度
	/SYS/PS1/T_AMB	電源装置 (PS1) の周囲温度	摂氏温度

表 A-1 Sun Netra X4250 のセンサー (続き)

タイプ	名前	説明	測定単位または値
電圧	/SYS/ALARM/INPUT	アラーム入力状態	Deasserted または Asserted
	/SYS/MB/P0/V_VCC	CPU 0 (P0) の電圧	ボルト
	/SYS/MB/P1/V_VCC	CPU 1 (P1) の電圧	ボルト
	/SYS/MB/V_+12V	マザーボード + 12V	ボルト
	/SYS/MB/V_VTT	マザーボード VTT	ボルト
	/SYS/MB/V_+1V5	マザーボード + 1.5V	ボルト
	/SYS/MB/V_+3V3	マザーボード + 3.3V	ボルト
	/SYS/MB/V_+5V	マザーボード + 5V	ボルト
	/SYS/MB/V_NIC	マザーボード NIC	ボルト
	/SYS/MB/V_+3V3STBY	マザーボード + 3.3V スタンバイ	ボルト
	/SYS/MB/V_+2V5STBY	マザーボード + 2.5V スタンバイ	ボルト
	/SYS/MB/V_+1V8	マザーボード + 1.8V	ボルト
	/SYS/PDB/+5V0_POK	配電盤 (PDB) + 5V	Deasserted または Asserted
	/SYS/PS0/V_IN	電源装置 (PS0) の入力電圧	ボルト
	/SYS/PS0/V_OUT	電源装置 (PS0) の出力電圧	ボルト
	/SYS/PS1/V_IN	電源装置 (PS1) の入力電圧	ボルト
	/SYS/PS1/V_OUT	電源装置 (PS1) の出力電圧	ボルト

表 A-2 Sun Netra X4250 のインジケータ

タイプ	名前
システム	/SYS/LOCATE
	/SYS/OK
	/SYS/SERVICE
アラーム	/SYS/ALARM/CRITICAL
	/SYS/ALARM/MAJOR
	/SYS/ALARM/MINOR
	/SYS/ALARM/USER

表 A-2 Sun Netra X4250 のインジケータ (続き)

タイプ	名前
ディスクドライブ	/SYS/HDD0/SERVICE
	/SYS/HDD1/SERVICE
	/SYS/HDD2/SERVICE
	/SYS/HDD3/SERVICE
	/SYS/HDD0/OK2RM
	/SYS/HDD1/OK2RM
	/SYS/HDD2/OK2RM
	/SYS/HDD3/OK2RM
CPU	/SYS/MB/P0/SERVICE
	/SYS/MB/P1/SERVICE
DIMM	/SYS/MB/MCH/DA0/SERVICE
	/SYS/MB/MCH/DA1/SERVICE
	/SYS/MB/MCH/DA2/SERVICE
	/SYS/MB/MCH/DA3/SERVICE
	/SYS/MB/MCH/DB0/SERVICE
	/SYS/MB/MCH/DB1/SERVICE
	/SYS/MB/MCH/DB2/SERVICE
	/SYS/MB/MCH/DB3/SERVICE
	/SYS/MB/MCH/DC0/SERVICE
	/SYS/MB/MCH/DC1/SERVICE
	/SYS/MB/MCH/DC2/SERVICE
	/SYS/MB/MCH/DC3/SERVICE
	/SYS/MB/MCH/DD0/SERVICE
	/SYS/MB/MCH/DD1/SERVICE
	/SYS/MB/MCH/DD2/SERVICE
	/SYS/MB/MCH/DD3/SERVICE

表 A-3 Sun Netra X4250 のコンポーネント

名前	説明
/SYS	ホストシステム
/SYS/ALARM	インジケータモジュール
/SYS/MB	マザーボード
/SYS/MB/BIOS	BIOS
/SYS/MB/CPLD	NVRAM
/SYS/MB/MCH/DA0	DIMM (DA0)
/SYS/MB/MCH/DA1	DIMM (DA1)
/SYS/MB/MCH/DA2	DIMM (DA2)
/SYS/MB/MCH/DA3	DIMM (DA3)
/SYS/MB/MCH/DB0	DIMM (DB0)
/SYS/MB/MCH/DB1	DIMM (DB1)
/SYS/MB/MCH/DB2	DIMM (DB2)
/SYS/MB/MCH/DB3	DIMM (DB3)
/SYS/MB/MCH/DC0	DIMM (DC0)
/SYS/MB/MCH/DC1	DIMM (DC1)
/SYS/MB/MCH/DC2	DIMM (DC2)
/SYS/MB/MCH/DC3	DIMM (DC3)
/SYS/MB/MCH/DD0	DIMM (DD0)
/SYS/MB/MCH/DD1	DIMM (DD1)
/SYS/MB/MCH/DD2	DIMM (DD2)
/SYS/MB/MCH/DD3	DIMM (DD3)
/SYS/MB/NET0	ネットワークインタフェース
/SYS/MB/NET1	ネットワークインタフェース
/SYS/MB/NET2	ネットワークインタフェース
/SYS/MB/NET3	ネットワークインタフェース
/SYS/PCI_MEZZ	PCI トレー
/SYS/PDB	配電盤 (PDB)
/SYS/PS0	電源装置 (PS0)
/SYS/PS1	電源装置 (PS1)

表 A-3 Sun Netra X4250 のコンポーネント (続き)

名前	説明
/SYS/SASBP	ディスクバックプレーン / SAS カード
/SYS/SP	サービスプロセッサ
/SYS/SP/NET0	ネットワークインタフェース (BMC コントローラ)

SUN-HW-TRAP-MIB からの Oracle の Sun Netra X4250 SNMP トラップ

表 A-4 すべてのホットプラグ対応コンポーネントに対するトラップ

トラップ
sunHwTrapFruInserted
sunHwTrapFruRemoved

表 A-5 BIOS が報告したエラーに対するトラップ

トラップ
sunHwTrapPreOSError

表 A-6 SDR のセンサーおよびコンポーネントに対応するトラップ

トラップ	センサーまたはコンポーネント
sunHwTrapComponentError	/SYS/ALARM/INPUT
	/SYS/NMIBTN-HIDDEN
	/SYS/PDB/+5V0_POK
	ACPI
sunHwTrapComponentOk	/SYS/ALARM/INPUT
	/SYS/PDB/+5V0_POK
sunHwTrapFanSpeedCritThresholdDeasserted	/SYS/PS0/F0/TACH
	/SYS/PS1/F0/TACH

表 A-6 SDR のセンサーおよびコンポーネントに対応するトラップ (続き)

トラップ	センサーまたはコンポーネント
sunHwTrapFanSpeedCritThresholdExceeded	/SYS/PS0/F0/TACH
	/SYS/PS1/F0/TACH
sunHwTrapFanSpeedFatalThresholdDeasserted	/SYS/FT0/F0/TACH
	/SYS/FT0/F1/TACH
	/SYS/FT0/F2/TACH
	/SYS/FT1/F0/TACH
	/SYS/FT1/F1/TACH
	/SYS/FT2/F0/TACH
	/SYS/PS0/F0/TACH
	/SYS/PS1/F0/TACH
sunHwTrapFanSpeedFatalThresholdExceeded	/SYS/FT0/F0/TACH
	/SYS/FT0/F1/TACH
	/SYS/FT0/F2/TACH
	/SYS/FT1/F0/TACH
	/SYS/FT1/F1/TACH
	/SYS/FT2/F0/TACH
	/SYS/PS0/F0/TACH
	/SYS/PS1/F0/TACH
sunHwTrapPowerSupplyError	/SYS/PS0/CUR_FAULT
	/SYS/PS0/FAN_FAULT
	/SYS/PS0/PWROK
	/SYS/PS0/TEMP_FAULT
	/SYS/PS0/VINOK
	/SYS/PS0/VOLT_FAULT
	/SYS/PS1/CUR_FAULT
	/SYS/PS1/FAN_FAULT
	/SYS/PS1/PWROK
	/SYS/PS1/TEMP_FAULT
	/SYS/PS1/VINOK
	/SYS/PS1/VOLT_FAULT

表 A-6 SDR のセンサーおよびコンポーネントに対応するトラップ (続き)

トラップ	センサーまたはコンポーネント
sunHwTrapPowerSupplyOk	/SYS/PS0/CUR_FAULT
	/SYS/PS0/FAN_FAULT
	/SYS/PS0/PWROK
	/SYS/PS0/TEMP_FAULT
	/SYS/PS0/VINOK
	/SYS/PS0/VOLT_FAULT
	/SYS/PS1/CUR_FAULT
	/SYS/PS1/FAN_FAULT
	/SYS/PS1/PWROK
	/SYS/PS1/TEMP_FAULT
	/SYS/PS1/VINOK
	/SYS/PS1/VOLT_FAULT
sunHwTrapSensorCritThresholdDeasserted	/SYS/VPS
sunHwTrapSensorCritThresholdExceeded	/SYS/VPS
sunHwTrapSensorFatalThresholdDeasserted	/SYS/VPS
sunHwTrapSensorFatalThresholdExceeded	/SYS/VPS
sunHwTrapSensorNonCritThresholdExceeded	/SYS/VPS
sunHwTrapSensorThresholdOk	/SYS/VPS
sunHwTrapTempCritThresholdDeasserted	/SYS/MB/T_AMB0
	/SYS/MB/T_AMB1
	/SYS/MB/T_AMB2
	/SYS/MB/T_AMB3
sunHwTrapTempCritThresholdExceeded	/SYS/MB/T_AMB0
	/SYS/MB/T_AMB1
	/SYS/MB/T_AMB2
	/SYS/MB/T_AMB3
sunHwTrapTempNonCritThresholdExceeded	/SYS/MB/T_AMB0
	/SYS/MB/T_AMB1
	/SYS/MB/T_AMB2
	/SYS/MB/T_AMB3
sunHwTrapTempOk	/SYS/MB/T_AMB0
	/SYS/MB/T_AMB1
	/SYS/MB/T_AMB2
	/SYS/MB/T_AMB3

表 A-6 SDR のセンサーおよびコンポーネントに対応するトラップ (続き)

トラップ	センサーまたはコンポーネント
sunHwTrapVoltageCritThresholdDeasserted	/SYS/MB/V_+12V
	/SYS/MB/V_+1V5
	/SYS/MB/V_+1V8
	/SYS/MB/V_+2V5STBY
	//SYS/MB/V_+3V3
	/SYS/MB/V_+3V3STBY
	/SYS/MB/V_+5V
	/SYS/MB/V_NIC
	/SYS/MB/V_VTT
	/SYS/PS0/V_OUT
	/SYS/PS1/V_OUT
sunHwTrapVoltageCritThresholdExceeded	/SYS/MB/V_+12V
	/SYS/MB/V_+1V5
	/SYS/MB/V_+1V8
	/SYS/MB/V_+2V5STBY
	/SYS/MB/V_+3V3
	/SYS/MB/V_+3V3STBY
	/SYS/MB/V_+5V
	/SYS/MB/V_NIC
	/SYS/MB/V_VTT
	/SYS/PS0/V_OUT
	/SYS/PS1/V_OUT
sunHwTrapVoltageFatalThresholdDeasserted	/SYS/MB/V_+12V
	/SYS/MB/V_+1V5
	/SYS/MB/V_+1V8
	/SYS/MB/V_+2V5STBY
	//SYS/MB/V_+3V3
	/SYS/MB/V_+3V3STBY
	/SYS/MB/V_+5V
	/SYS/MB/V_NIC
	/SYS/MB/V_VTT
	/SYS/PS0/V_OUT
	/SYS/PS1/V_OUT

表 A-6 SDR のセンサーおよびコンポーネントに対応するトラップ (続き)

トラップ	センサーまたはコンポーネント
sunHwTrapVoltageFatalThresholdExceeded	/SYS/MB/V_+12V
	/SYS/MB/V_+1V5
	/SYS/MB/V_+1V8
	/SYS/MB/V_+2V5STBY
	//SYS/MB/V_+3V3
	/SYS/MB/V_+3V3STBY
	/SYS/MB/V_+5V
	/SYS/MB/V_NIC
	/SYS/MB/V_VTT
	/SYS/PS0/V_OUT
	/SYS/PS1/V_OUT
sunHwTrapVoltageNonCritThresholdExceeded	/SYS/PS0/V_OUT
	/SYS/PS1/V_OUT
sunHwTrapVoltageOk	/SYS/PS0/V_OUT
	/SYS/PS1/V_OUT

